

City Life NEWS

全国で注目される施策や課題は、地域で暮らす私たちにどう影響するのか?身近に起きた出来事やトレンドなど、幅広い分野のニュースを紹介していきます。ネットでもさまざまなニュースを紹介しています。



シティライフNEWS で検索

30年前から続く 池田市の「まち角の図書館」

世界中で猛威を振るう新型コロナウイルス。感染拡大を防ぐために各種イベントは中止、学校や公共施設も休校したり臨時休業に。各地の図書館も例外ではないが、コロナウイルスにめっぽう強そうな図書館が池田市にある。

30年前に第1号館が設置された「まち角の図書館」。スチール製の本棚にガラス戸を付けただけのシンプルなもの、無人・無料・無施錠。読みたい本があれば誰でもその本棚から借りられ、いつ返してもよい。寄贈したい本は本棚の下段に置いておく。小規模だから客同士が群れることもなく、ウイルスによる「濃厚接触」の心配もない。

なんて便利な図書館なのだろうと思う一方で、成り立っていくのか、盗難は起きないのかなど不安に思うことも多い。だが心配は要らない。池田市の市民性とボランティア団体「池田のまち角に図書館をつくる運動実行委員会」の活動で、この30年間に13か所まで増え、大切に利用されている。

委員会創設時から活動されていた木

村順子(きむら じゅんこ)さんによると、創設者は古家孝人(こや たかひと)さん。毎日新聞社を退職後、池田市の人気ローカル紙「ガンガラ新聞」を創刊した人でもある。当時、池田市では年に2度の古本市を開催していた。1年間で4~5000冊の寄付があるが半数が売れ残った。それを有効利用しようと「まち角の図書館」を考案したそうだ。「良い本はみんなで共有しよう」という発想だ。

善意で集まった本が汚れないように雨漏り対策を工夫するなどしたため実現までに3年かかった。一号館は1990年4月に現在の市役所前の道を挟んだバス停のところに建てられた。

本棚の上にはシーサーが置いてある。なぜ沖縄の守神が池田にいるのか。それはこの活動が評判を呼んで、沖縄県与那原町、長崎県佐世保市、宮崎県西都市にまで広まったことと関係している。創設してからNHKの教育番組で「まち角の図書館」が取り上げられたのが縁で、最初に与那原町にできた。その縁でシーサーが送られてきたのだ。池田市のまち角図書館13か所の中には、市立池田



池田市立図書館にある座り心地の良いイスは、デンマークの家具ブランド「アルネ・ヤコブセン」。

病院前にもある。入院患者からは「素晴らしいものを作ってくれてありがとう」という声が木村さんに寄せられたという。貸し出し手続きも必要がない手軽さが好評だ。

池田市には全国どこの図書館にも負けない図書館がもう1か所存在する。阪急池田駅に直結している商業施設「サンシティ池田」の3階にある池田市立図書館だ。特筆すべきは、世界的に有名な家具ブランド、デンマークの「アルネ・ヤコブセン」のイスやソファ、さらには壁紙と時計が採用されている。北欧では公共施設に良質な家具を置くことは一般的だが、日本の図書館にヤコブセンの家具が置いてあるのは池田市立図書館の他には、国会図書館関西館(京都府相楽郡精華



池田市役所前のバス停近くにある「まち角の図書館」第1号。

町)くらいという。池田市立図書館にはソファと椅子を含めて約20脚、関西館には8脚ほどあるそうだ。

アルネ・ヤコブセンは、デンマーク出身。20世紀に最も影響力のある建築家・プロダクトデザイナーと言われた。オックスフォード大学の食堂では現在もヤコブセンがデザインした椅子が使われているという。

北欧は日照時間が短く、家で家族と過ごす時間が長い。人と人とのつながりや物を大切にすることは北欧文化の特徴で、座り心地の良いヤコブセンの椅子はその象徴だ。

ただし池田市立図書館は残念ながらコロナウイルスの影響で、4月7日まで休館だ。



取材・執筆: 関西大学総合情報学部3年次生 久保まなさん

新型コロナウイルス 北摂の自治体などの対応

受診について

現在、個人が医療機関に直接行って検査をすることはできない。厚生労働省がまとめた目安をもとに、該当者については各自治体の「新型コロナ受診相談センター」への連絡を呼びかけている。

労働に関する窓口

休校になった小学校に通う子どもの保護者が休職するなどして所得が減った場合に対応するため、厚労省では休暇取得支援のための新たな助成金を開設。3月18日から申請受付を開始した。正規雇用・非正規雇用を問わず、労働基準法で定める有給休暇とは別に、有給の休暇を取得させた企業が対象。問い合わせは学校等休業助成金・支援金等相談コールセンター(0120-60-3999・9時~21時)。大阪労働局でも新型コロナ感染症の影響による一般的な労働相談などについての特別相談窓口を設けている(0120-939-009、月・水~金曜9時~17時、火曜9時~18時)。

【帰国者・接触者相談センターに相談する目安】

- 風邪の症状や37.5度以上の発熱が4日以上続く方
- 解熱剤を飲み続けなければならない方
- 強いだるさ(倦怠感)や息苦しさ(呼吸困難)がある方

なお、高齢者、糖尿病や心不全などの基礎疾患がある人、透析を受けている人などは重症化しやすいため、上記の状態が2日程度続く場合には同センターに相談を。

新型コロナウイルスに関する窓口

	一般的な相談	帰国者・接触者相談センター*
厚生労働省	0120-565-653 (9時~21時)	—
大阪府	06-6944-8197 (健康相談など・9時~18時)	—
吹田市	06-6384-0078 (市の対応など・平日9時~17時半)	06-6339-2225
豊中市	—	06-6151-2603
箕面市 池田市	—	072-751-2990
高槻市	072-661-9334 (不安や心配ごと・平日8時45分~17時15分)	072-661-9335
茨木市	072-655-2750 (市の対応など・平日9時~17時)	072-624-4668
摂津市	06-6383-1501 (市の対応など・平日9時~17時15分)	—

*受付時間は各自治体保健所の開庁時間に準ずる。時間外と土日祝日は留守番電話などで府コールセンターへ案内。

府内在住外国人向けの相談窓口は大阪府国際交流財団(06-6941-2297・月金9~20時、火水木9~17時半、第2、4日曜13~17時)



【施設や店舗の対応事例】

① 民間の保育園

伊丹市にある民間が運営する保育園では、3月中旬に予定していた卒園式を当初中止する方向でいたが、規模を縮小して開催。保護者1名のみ参加、アルコール消毒を実施、親子ともにマスク着用という条件のもと、式は証書授与と所長の言葉で終了。保護者の1人は「リスクがあることは重々承知していましたが、開催を決断してくれて感謝しています」と話した。

② 運動施設

西宮市のパーソナルジムでは、コロナ対策の一環として「親子ペアトレーニング」を導入した。休校に伴い、一日中子どもと一緒にいる会員に向けて考案されたメニューだ。対象は会員とその子ども(小学生までで、子どもの料金無料)で、身体を動かして体力を向上し、免疫力アップを目的としている。

③ 弁当宅配業者

北摂で弁当の宅配を営む事業所は、注文を受けた場合、みそ汁を無料で提供する限定サービスを実施。「学校が休校となり寂しい、退屈な時間を過ごしている子どものためにできることを考えました」と店長。大口の注文が減り業績は厳しい状態が続いているが、地域に支えられてきたという思いから、今回のサービスに踏み切ったという。

④ 学習塾

茨木市の学習塾では、動画共有サービス「YouTube」を使って中学生向けに授業の無料配信を行う。一斉休校を受けて、きちんと勉強ができていないか不安だという保護者の声を受けて決定した。期間中は自習に不向きだといわれている「理科」の授業を行う予定という。